

変数の変域

文字 x はいろいろな値をとることができる。このような文字を^{へんすう}変数という。

変数 x のとることができる値の範囲を^{へんいき}変域という。

変域は不等号 ($<$ $>$ \leq \geq) や、数直線を使って表すことができる。

変域を不等号や数直線を使って表す

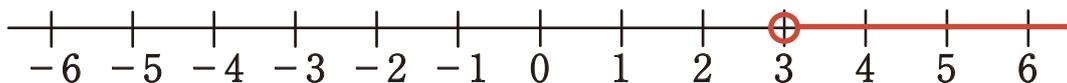
x の変域を不等号を使って表すときは、**値が小さい数や文字を左側に、値が大きい数や文字を右側に書き、その間に不等号を書く。**

x の変域を数直線を使って表すときは、**変域の端を丸(○や●)で表し、変域の範囲に線をひく。**このときに変域の端の値は、

○のときはその数をふくまず、●のときはその数をふくむ。

① x の変域が、**ある数より大きい数**のとき

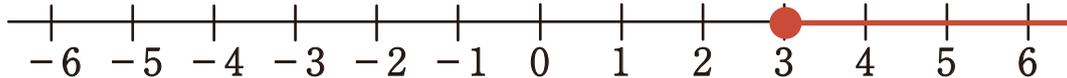
例) x の変域が、3 より大きい数のとき $3 < x$



3 より大きい数は
3 をふくまない

② x の変域が、**ある数以上の数**のとき

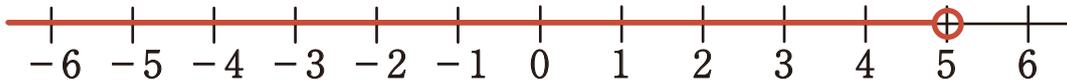
例) x の変域が、3 以上の数のとき $3 \leq x$



3 以上の数は
3 をふくむ

③ x の変域が、**ある数より小さい数**のとき

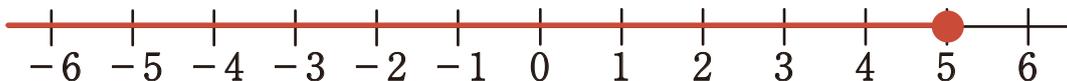
例) x の変域が、5 より小さい数のとき $x < 5$



5 より小さい数は
5 未満の数ともいい
5 をふくまない

④ x の変域が、**ある数以下の数**のとき

例) x の変域が、5 以下の数のとき $x \leq 5$



5 以下の数は
5 をふくむ

1 x の変域が 1 より大きく、4 以下のとき、

x の変域を不等号を使って表しなさい。また、数直線上にも示しなさい。

$$1 < x \leq 4$$

